



ある八重子物語
井上ひさし 作 丹野郁弓 演出

装置 勝野英雄
照明 前田照夫
衣裳 宮本宣子
音楽 八幡茂
効果 岩田直行
所作指導 西川瑞扇
舞台監督 深川絵美



出演
別府康子 吉田陽子 桜井明美 中地美佐子 藤巻るも 有森也実 [客演]
印南唯 加塩まり亜 佐々木郁美 清水川千紘

千葉茂則 横島亘 みやざこ夏穂 吉岡扶敏 塩田泰久 篠田三郎 [青山事務所]
吉田正朗 平野尚 横山陽介 慎将吾 小守航平



[宣伝美術] ささめやゆき



日時 2023年4月29日(土・祝) 13時開演(12時15分開場)
会場 川崎市麻生市民館・大ホール(小田急線「新百合ヶ丘」駅北口より徒歩5分)

主催：川崎・しんゆり芸術祭実行委員会
共催：川崎市 川崎市教育委員会
後援：「音楽のまち・かわさき」推進協議会
NPO 法人しんゆり・芸術のまちづくり
「映像のまち・かわさき」推進フォーラム



ある八重子物語

井上ひさし作 丹野郁子演出

神田川が隅田川へと流れこみ、花街として栄えた柳橋。舞台は、昭16(1941)年から敗戦直後の昭21(1946)年にかけての柳橋・古橋医院。

ここに集う人びとは、水谷八重子に心酔する古橋院長を筆頭に、事務方、看護婦、女中まで全員が大の新派マニア。患者の身の上話もたちまち「婦系図」風の筋書きに。そこへ八重子そっくりの「音楽のような声」をもつ芸者花代が登場、恋愛事件もわきおこって大騒動。はたまた「女形の研究」に熱中するあまり、入営日に寝過ごし徴兵忌避者になつてしまう大学生もからんで……。

新劇から出発して新派で活躍した初代・水谷八重子(1905~1979)。「世の中がいまより少しでもましになりますように」という新劇の考え方に影響を受け、〈女優〉という新しい職業の確立をめざした時代の先駆けとして知られています。水谷八重子の芸と生きざまに魅せられた人びとをユーモラスな筆致で描く傑作戯曲です。



料金【全席指定】一般 5,000円 U25席 2,000円

*ご来場の際は、マスクの着用をお願いします。*発熱や咳など、体調に不安のある方はご来場をお控えください。
*川崎・しんゆり芸術祭実行委員会では、新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、適切な感染予防対策を行います。詳細は、HPをご覧ください。

チケットご購入のご案内

チケット発売中 最新情報はアルテリッカしんゆりHPでご確認ください。
<https://www.artericca-shinyuri.com/>



<インターネット>

アルテリッカしんゆり公式ホームページ(24時間対応)
<https://www.artericca-shinyuri.com/>

<電話予約> アルテリッカしんゆりチケットセンター

(10:00~17:00/2/1から平日のみ、4/1からは毎日営業)

TEL.044-955-3100

<窓口販売> (A. B. C. D / 地図参照)

- A** 川崎市アートセンター (10:00~17:00/毎月第2月曜を除く)
- B** 新百合トウェンティワンホール (10:00~17:00)
- C** 昭和音楽大学南校舎 (10:00~18:00/12:00~13:00及び2/2、2/3、3/10、土・日・祝を除く)
- D** マイタウンチケットセンター (新百合ヶ丘マブレ「写真工房 彩」内) (平日9:00~19:00/土・日・祝10:00~19:00/毎月第3水曜を除く)

